

防 除 情 報

平成 16 年度病虫害発生予察 防除情報第 11 号

平成 16 年 9 月 17 日
長崎県病虫害防除所長

かんきつ ミナミトゲヘリカメムシ、オオクモヘリカメムシ、
ホソヘリカメムシの防除対策について

現在、県下各地域でミナミトゲヘリカメムシ、オオクモヘリカメムシ、ホソヘリカメムシの発生が多くなっています。向こう 1 ヶ月間の気温は平年より高い見込みで今後も多発する可能性があります。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1 発生状況

- (1)病虫害防除員等からの報告によると、9月7日の台風18号襲来後、ミナミトゲヘリカメムシ（写真）等の発生が目立ち、落果がみられる。
- (2)県下各地域で発生が認められるが、諫早市、大村市、多良見町、長与町では特に発生が多い。
- (3)極早生温州園での発生が多いが、早生温州園でも発生している。
- (4)着色（脱色）が早い樹に集中して加害する傾向にある。

2 防除対策

- (1)早朝あるいは夕方に園を見回り、発生が認められたら、薬剤散布による防除を行う。
- (2)薬剤はチャバネアオカメムシなどの果樹カメムシ類で使用する薬剤でよい。
- (3)収穫までの期間が短いので、薬剤散布に当たっては使用基準を遵守する。



写真 温州みかんに寄生するミナミトゲヘリカメムシ